

●平成二十二年十一月四日(木)クローズアップに掲載されました。全国非開削普及協議会が推奨する環境を考えた「EGSM工法」が西東京市をはじめに多くの自治体で注目されてまいりました。工事実績も上がり高評価を得ております。全国的な普及を推進してまいります。ビジネスチャンスと捉え一層のご協力をお願い致します。

全国非開削普及協議会・岡本州雄会長に聞く

全国非開削普及協議会(岡本州雄会長)が推進している雨水集水ます浸透化工法(EGSM工法)が、近年のゲリラ豪雨対策として注目を集めている。道路集水ますの底部掘削など簡単な工事での浸透効果を実現できることから、西東京市で正式に採用されたほか、多くの自治体が関心を寄せているという。今後、都市部を中心に普及が見込まれる同工法について、岡本会長に開発経緯や展望を聞いた。(聞き手は多摩支局 馬場秀史)

雨水は浸透させ 地下に

ゲリラ豪雨対策へ注目の「EGSM工法」

全国的な都市化の進展に伴う道路舗装面などの不透透増加の影響は、近年の浸水被害に顕著に表れているのではないだろうか。近年、多発するゲリラ型豪雨による浸水被害対策として、国を挙げてさまざまな取り組みが進められている。また、不浸透域の増加は

る。しかし、合流式下水道改善事業について言えば、国土交通省は2013年度末までに対策を講じるとし

地下水位の低下や湧水などにも大きな影響を与えている。地下水の枯渇は、漏水の危険を高めるばかりでなく、緑地や街路樹の潤いを失わせ、ヒートアイランド

透ますの改善手段としても安価で再生できる工法となっている。

また、東京都では立川市や府中市、調布市、小金井市のほか、神奈川県や埼玉県

多発する集中豪雨などによる自然災害は、われわれ建設業界への「次の世代や次の時代に向けた新技術への取り組みを促す」メッセージだと思ふ。都市化の進展により便利になった一方で、こうした浸水被害や渋滞による地球温暖化など環境問題に配慮した新技術や新たな取り組みが求められている。

短時間施工で低コスト化実現

環境を考えた新工法

EGSM工法は、道路を掘り起こすことなく、道路排水ますや雨水集水ますの底部を掘削し、浸透管を埋め込むというもの。浸透管の先に、着脱が容易なレインフィルターを装着することで、簡単なメンテナンスと恒久的で高い浸透効果を実現させた。また、機能を失っている既設の浸透ますも少なからず、そうした浸

環境を考えた新工法。EGSM工法は、道路を掘り起こすことなく、道路排水ますや雨水集水ますの底部を掘削し、浸透管を埋め込むというもの。浸透管の先に、着脱が容易なレインフィルターを装着することで、簡単なメンテナンスと恒久的で高い浸透効果を実現させた。また、機能を失っている既設の浸透ますも少なからず、そうした浸

透ますの改善手段としても安価で再生できる工法となっている。

また、東京都では立川市や府中市、調布市、小金井市のほか、神奈川県や埼玉県

多発する集中豪雨などによる自然災害は、われわれ建設業界への「次の世代や次の時代に向けた新技術への取り組みを促す」メッセージだと思ふ。都市化の進展により便利になった一方で、こうした浸水被害や渋滞による地球温暖化など環境問題に配慮した新技術や新たな取り組みが求められている。

EGSM工法は、4月に国土交通省より発表された「雨水浸透施設の整備促進に関する手引き(案)」について「にも具体的事例として紹介された。今後、各自治体による浸水対策下水道事業として取り組みが進められる中、同工法は、雨水流出抑制や道路浸水対策、合流改善事業などに貢献できると期待されている。



透ますの改善手段としても安価で再生できる工法となっている。

また、東京都では立川市や府中市、調布市、小金井市のほか、神奈川県や埼玉県

多発する集中豪雨などによる自然災害は、われわれ建設業界への「次の世代や次の時代に向けた新技術への取り組みを促す」メッセージだと思ふ。都市化の進展により便利になった一方で、こうした浸水被害や渋滞による地球温暖化など環境問題に配慮した新技術や新たな取り組みが求められている。

EGSM工法は、4月に国土交通省より発表された「雨水浸透施設の整備促進に関する手引き(案)」について「にも具体的事例として紹介された。今後、各自治体による浸水対策下水道事業として取り組みが進められる中、同工法は、雨水流出抑制や道路浸水対策、合流改善事業などに貢献できると期待されている。

